

2018年7月26日

岡山県知事 伊原木隆太 様
教育委員会教育長 鍵本芳明 様

日本共産党岡山県委員会
委員長 植本完治
日本共産党岡山県議団
団長 森脇久紀

酷暑・熱中症に対応する思い切った対策を求める申し入れ

日本列島を覆う高気圧のため、県内でも40℃近くになる日が続いています。気象庁は23日、「命の危険がある温度」として熱中症への注意を呼びかけました。

報道によると、県内で熱中症とみられる症状による救急搬送患者は、16日から22日の1週間で573人（速報値）にのぼり、統計をとり始めた2008年以降最多で、80代の2人が死亡する深刻な事態にもなっています。

このような酷暑・猛暑は今後もさらに続く見通しであり、様々な方面からの対策がまったくなしの課題となっています。抜本的には地球温暖化防止対策に本腰をいれてとりくむことが必要ですが、この酷暑への緊急対策として、下記の点を強く要望するものです。

記

1. 高齢者世帯、障害者や病気の人がいる世帯、低所得世帯に対し、電気代の補助制度を創設すること。

2. 豪雨災害の被災者に対し、電気・ガス・電話料金等の軽減・免除措置が実施されるよう事業者に働きかけること（被災者生活再建支援法）。

3. 生活保護の夏季加算を復活するよう国に求める。

4. 热中症対策・暑さ対策の「休息所」を各地に設け、広報すること。

たとえば、県庁舎や県民局など県有施設のホール、文化施設や公民館、図書館など公共施設に「暑さ対策休息所」の旗を掲げ、一時避難ができるようにするなど

5. 陰のない屋外での待合い場所（駅のバス・タクシーなど）、屋外の公共施設などにはミストシャワーを設置すること。

6. 高齢者、小学生にクールスカーフを無償配布すること。

7. 豪雨災害の被災地で避難している被災者、片付けに追われる住民やボランティア等への注意喚起をくりかえしおこなうこと。

8. 夏休み中の部活動、野外活動、エアコンのない場所での活動に際し、万全の注意喚起をおこなうこと。

9. 小中高校すべての教室に、早急にエアコンを設置すること。

すべての教室に設置することを目標に、2学期の始業までにすべての学校の普通教室の一定数に設置し、クラスごとに交替しながらエアコンのある教室で授業できるようにすることも必要

10. 保育所の軒下・プールなど、子どもが裸足で歩く場所に熱交換塗装を促進すること。

11. 農作物等への影響を適宜調査し、生産者への適切なアドバイスとともに、必要な場合には速やかに対策を講じること。

12. 酷暑はまさに災害であり、専決処分も含め、必要な対策をスピーディーに実施すること。

以上